

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄

▲ 発行所 新潟県山岳協会

〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

謹賀新年

今年もよろしくお願ひ申し上げます

昭和63年元旦

新潟県山岳協会
 会長 室望小上 鈴木平役
 副会長 賀月林村 木田員
 理事 兼幹敏大 一
 副理事 男力郎雄雄 六同

「ささやかなるも大きな自然保護の声」

巻機山に開発が来る

塩沢町清水 小野塚 忠 男

昭和62年11月15日発行の行 政相談(広報しおざわ)に、

巻機山のスキー場開発は、住 友不動産と、大林組が進める 計画である、と説明している。

はじめに

表日本と裏日本の分水嶺に ある巻機に抱かれて生れ育つ た私は、14年前黒川シャトー に依るスキー場開発話が出た 時より、自然をこわす恐しさ を初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

るを初めて知り、美しい山を守 るを初めて知り、美しい山を守

部落構成

3つの集落を集めて大字清 水といい、4km離れた蟹沢5 戸と、6km離れた台上とい う 集落と、清水の22戸で構成し ているが、台上蟹沢共清水の 人が良いならと静観している。

問題の22戸の中、反対1賛 成21であるが、良く見ると考 え方の違いが出て来る。 一つは、言い出した以上は どうなるかとやらなくっちゃ 組。3分の1、これがリード することに。 (自然保護 対策の具体的なものも無い) 第3は、7合目以上は山頂

対策の具体的なものも無い) 第3は、7合目以上は山頂 二つ目、土地を少しでも高 く売って金が欲しい組、中に は他へ引越し組も見える。 三つ目、どちらでも良いが

と云う組。 開発とは地域の住民の生活 が、こうすればこうなるとの プログラム示し、諒解を得る ものだが何もなかった。ある のは他力本願だけ。過去2度 の開発話が駄目になったのは、 寄れば悪口だけで自分の役割 を見だせなかったのではな

かるうか、以上に助けられた。 地形・地質 山麓に立つと、廻りの山は

12000から20000mの扇 状の地形をして居り、一見管 理し易そうに見えるが、厳冬 期には表層雪崩の巣である。 スキー場として3ルート考

えられるが、山の形を変える 程の大事が必要だし、一番 易しい巻機ルートにしても泣 き所は3つ有る。

第1は、ニセ巻下の尾根の 狭さで、どちらに出ても厳冬 期には表層雪崩。 第2は、井戸ノ壁の地形を 変えないと表層雪崩。

以上他に、岩で出来た山 には有るが、赤土と石の混じ った土砂の上に黒い表土で、 山が出来ている。其の表土を 動かすと、岩と赤土の間に雨 水が入り込んで、土石流を起 す危険。割引沢、米子沢合流 点より下流に、10年位の年月 と10億円の金を建設省がか けて、砂防堰堤を7ヶ所作り、

今後米子沢に対しては、3基 ずつ1群とした3群を12/13 年かけて作る説明会を聞いた

ばかりで、地元から見れば、上部は手つかずと注文をつけられたばかりです。

天候は不順な処で、表日本裏日本の天気の違いが双方つき合うという不順な所である。

以上であるが、今迄3年間少しは良い話になると思いいつと我慢して来たが、本気で反対を始めたのは、開発は人の為にするのではなく、

自身が汗流すもんであるし、自然を破壊する時は必ず手痛いしっぺ返しを受けると思い、多くの皆様にすがり自然を守り度く決意しました。

(自然保護委員会では、可能な限り自然保護の立場から、地元を協力して行きたいと考えております。)

水原山の会

「アイランドピーク」に挑戦

水原山の会では1988年3月、ネパール、クランプ山群のアイランドピーク(6189m)登頂を計画しています。

この山は、1985年11月、登山家、尾崎隆、フレデリック夫妻が1才を迎えたばかりの息子、真(マコト)君を連れ登頂に成功した山です。この山行には当初から賛否両論が捲き起こり、マスコミなどが大きく取り上げられました。そのため皆さんの中にはこの山をご存じの方も多いと思えます。

高度6000m以上の所へ限られた日数で身体を高度順化させ、生まれ持った自分自身の2本の足でその頂に立つてみたい。やれるかやれないか判らないが、まずやってみよう。遠く何千kmと離れたネパールまで出かけて行き、文化の異なる人々と接すること

も、人生感を変える魅力がある。その山の高度とそこにいる人々、日本においては絶対味わうことができないこの2つの目的のために5人の有志が集まり、水原山の会ネパール遠征隊(アイランドピーク登頂)と言う少々仰々しい名前

の登山隊を結成しました。遠征に際して最大の問題はやはりどれだけ休暇が取れる

かと言う事です。本人の山に對する情熱だけでなく、まわりの多くの人達の理解と協力が必要で、これを得るための努力も忘れてはいけないと思えます。幸いメンバー全員、日頃の行いが良いせいでしょうか。この問題を無事クリアし、20日間の休暇を取ることが出来ました。

12月にはようやく計画書が出来上がり、旅行社との打ち合わせ、契約、装備や食糧の購入とますます忙しくなってきました。必ずこの遠征を成功させるために、全隊員がこの遠征の目的意識を明確にし、来る日に備えたいと思います。

(榎本 明人)

冬山の遭難事故防止について

長野県山岳遭難防止対策協会より、無謀な登山を慎むようにし、

(1) 登山計画はしっかりしたリーダーを決めて参加者全員により検討を行い、計画内容を全員が知っているは

か、予備日、停滞日、を考慮した余裕のある日程を組むこと。

(2) 冬山における装備品の欠陥は直ちに遭難に結びつくので、アイゼン・ピッケル・石油コンロ等は事前に点検を行い確認すること。

(3) 単独登山はやめること。

(4) 万一遭難が発生した場合 南アルプス、戸隠連峰。

大赤沢新コースより

満山紅葉の苗場山へ

——第二回日本山岳会越後支部親睦登山会——

JAC越後支部 山崎 幸和

昨年の飯豊山に続き、今年 硫黄川工事用駐車場(7時35分)から、しばらく急登して尾根筋に出れば、眼下には一面紅葉に染った秋山郷の山々

と里が朝日に映える。中津川対岸には屏風の様にそそり立っている鳥甲山の岸壁が、登高意欲をそそる。尾根道は良く整備されており、苔むした道はまるでベットの土を歩く

がごとく身体が弾む。何年後には、踏跡でこの苔が崩壊した大赤沢新コースを登る。も

たならずポ足状の悪路になるのでは……と心配される。まもなく苗場山腹特有の平坦地

となり、小標平（9時35分）
 辺りからはキノコ、ブドウ、
 ヤマナシ等が道端でも豊富に
 獲れ、秋山の幸に歓声が上る。
 しばらく楽しみながら平地を
 歩けばやがて猿面峰。これを
 一気に越すといよいよ山頂へ
 の最後の急登。すぐ左手北側
 には神楽峰からの道が見える。
 雷光形の道を一汗流して詰め
 ると、遊仙閣裏にある一等三
 角点に飛び出た。（12時20分）
 一面黄色に燃える山頂の草
 原は風になびき、汗ばんだ肌
 が心地良い。何という素晴し
 い展望。360度何一つさえ
 ぎる物はない。正に台風一過
 の日本晴れは、妙高山、北ア
 ルプス、浅間山、奥日光那須、
 飯豊連峰等を見事にハッキリ
 浮き出している。みんなが指
 呼するのはほとんど北アの峰
 々であるが、私の関心は弥彦
 山であった。何回も登ったが、
 今日ほどの眺望は初めてなの
 でなおさらである。弥彦山よ
 り眺望される苗場山頂から、
 山体の小さい弥彦山が見える
 かどうかである。双眼鏡で探
 すこと数分。見えた、小豆
 粒大に。そして左西側奥に佐

渡も確認された。しかし肉眼
 では少し無理のようである。
 また見える見えない論争的
 の富士山はやはり確認出来な
 かった。
 晩秋のめずらしい暖かさの
 中、全員車座となって中食。
 各自のザックから次々と出て
 くる珍味は山頂での憩を盛上
 げ、特に佐藤支部長のヒレ酒
 ドブロクは絶品で、次々と回
 し飲みし、山ならではの親密
 感深まる。さらに先発した長
 岡勢の室賀、土田、今成氏ら
 の心付かいで用意されていた
 ミソ汁に一同大喜び。また上
 村、山田氏らが途中獲ったキノ
 コ汁も加わって全員満腹。
 下りは山頂の絶景をもっと
 觀賞しようと小沢コースに
 急遽変更。登る途中、獲った
 キノコを置いて来た者を慌て
 させたが、それ以上の価値有
 りと納得、全員（13時30分）
 下山開始。途中、大平晟翁名
 誉会員碑に一同拝礼し、岩下
 夫妻の推めで苗場神社奥社も
 参拝、その裏の平原がまた素
 晴しく箱庭を連想させた。こ
 のコースもまたキノコ、ブド
 ウ獲りで忙しく、到着予定を

はるかにオーバーして「秋山
 館」へ無事到着（17時20分）。
 楽しかった今回の山行を土産
 に、再会を約し各々帰途に着
 いた。
 翌19日は苗場山頂初冠雪だ
 った、との便りが桑原氏より
 写真と共に数日後届いた。
 参加者名

部役職の委任が行なわれた。
 自然保護活動の活性化と事務
 通信費として、環境庁、日山
 協指導員より年会費2000
 円の徴収が決定された。その
 他副理事長に平田大六氏、各
 委員会会費運営委員会の設置
 等が討議された。22名出席。
 日時 昭和63年1月9日(土)
 10日(日)
 9日：五頭県民いこいの森
 キャンプ場、18時30分頃
 から宴会
 10日：松平山登山
 装備 冬山登山用具一式、10
 日の食糧、シュラフ、食器、
 防寒着
 ・宴会の酒類はこちらで用意
 します。
 会費 2000円くらい
 申込 笹神村うすゆき山の会
 石山 晟嗣
 電話 02501
 6318352(夜)

新入会員紹介

アスタークジャパン
 会員 10名
 新井市栄町1番5号
 新井農協ビル内
 代表者 丸山邦男
 電話 025517216889

昭和62年度
 山岳スキー
 講習会開催

新年会の お知らせ

新潟から見る飯豊、五頭連
 峰もまっ白になり、冬山の季
 節到来といったところですが、
 いかがお過ごしでしょうか。
 趣旨 登山の指導的立場にあ
 る者の参加を求め、主とし
 て山岳スキーに関する講習
 を行い、資質の向上を図る。
 期日 昭和63年2月11日(木)か
 ら2月14日(日)までの4日間
 会場 文部省登山研修所
 〒9300114 富山県中
 新川郡立山町千寿ヶ原

文部省登山研究所

理事会報告

12月6日、長岡市中央公民
 館で開催。「アスタークジャ
 パン」の加入を承認。昭和63
 年7月22日、24日、笹神村で
 開催される北信越国体の概容
 を吉野国体委員長が報告、一
 ます。ぜひご参加下さい。

12月6日、長岡市中央公民
 館で開催。「アスタークジャ
 パン」の加入を承認。昭和63
 年7月22日、24日、笹神村で
 開催される北信越国体の概容
 を吉野国体委員長が報告、一
 ます。ぜひご参加下さい。

12月6日、長岡市中央公民
 館で開催。「アスタークジャ
 パン」の加入を承認。昭和63
 年7月22日、24日、笹神村で
 開催される北信越国体の概容
 を吉野国体委員長が報告、一
 ます。ぜひご参加下さい。

講習内容		講師
講義	積雪と雪崩について	新田 隆三 農林水産省林業試験場防災科長
実技	山岳スキー技術 生活技術 緊急時対策	主任 島田 靖 飛騨山岳会 会員 医療 関口 渉 昭和大学病院 医師
班別研究	冬山の食糧・ 装備について 実技について	ほか6名

講習内容と講師

(2) 募集人員 30名

参加者の決定 登山研修所で

選考の上、受講者を決定する。

必要書類を送付します。

休までに協会事務局へ連絡

申込締切 昭和63年1月14日

決定し申込みこと。

部と協議の上、参加者を

決定し申込みこと。

育委員会が当該都道府県

の高等学校体育連盟登山

部と協議の上、参加者を

決定し申込みこと。

ア、公立高等学校関係者に

ついては、各都道府県教

育委員会が当該都道府県

の高等学校体育連盟登山

部と協議の上、参加者を

決定し申込みこと。

ア、公立高等学校関係者に

ついては、各都道府県教

育委員会が当該都道府県

の高等学校体育連盟登山

部と協議の上、参加者を

決定し申込みこと。



協会創立

40周年記念

新年会案内

日時 昭和63年1月24日(日)

会場 イタリヤ軒 11時より

新潟市西堀通り7

会費 7000円

小林兼一郎

室賀 輝男

0258-13210428

各団体1名以上、各委員会

10名以上の参加をお願いします。

会場準備の都合上、20日ま

では連絡下さい。

昭和62年度

冬山登山技術

研修会案内

期日 昭和63年2月20日(土)

21日(日)

会場 青田南葉山(949m)

宿泊地 上越市下馬場多目的

センター

0255-1224-5111

0255-1224-5111

0255-1224-5111

0255-1224-5111

0255-1224-5111

0255-1224-5111

0255-1224-5111

※ 寝袋、夕食、朝食、昼

食は各自持参

装備 冬山装備(山スキーも

やりたいと思います)

日程

・2月20日(土)

受付開始 18時

懇親会 19時~21時

・2月21日(日)

朝食 5時30分

出発 6時 ↓ 見晴し台

9時(豪雪の場合はキャン

プ場まで)

訓練後下山 ↓ センター

12時30分

昼食 13時30分

自然科学博物館(上越リ

ジョンプラザ) 13時40分

15時 解散

会費 2000円

申込み 2月13日(土)

・長岡市学校町1-12-23

室賀輝男方

新潟県山岳協会

0258-13210428

上越市南城町2-3-37

橋本正己方

高田ハイキングクラブ

0255-12417215

高田ハイキングクラブ

読書は万能の基

新潟市宮所通1-301

学生書房

電話 025-222-9870番

教習種目 大型・普通(第1種)大特
自二輪・身障者用各種自動車

中条自動車学校

北蒲原郡中条町大字高野字茨島

中条(0254)44-8071

社長 高野愛子